



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

12日

中国人民銀行が外国為替市場でフォワード取引を行う際の法定準備金を撤廃すると発表したことを背景に、週明け早朝取引ではドル高・元安が進むなか、ドル円も一時105.85円まで上昇。もっとも、その後は海外短期勢からの売りに押されたほか、次第にドル売りが優勢となった流れに沿って105.24円まで値を下げた。

13日

米経済対策法案の不透明感やブレグジット交渉の先行き懸念などリスク要因が目立つ中、欧米株価指数が軟調に推移するとリスク・オフのドル買いが優勢に。ドル円も105.63円まで上昇した。

14日

対ポンド中心にドル安が進んだ影響を受けて、円に対してもドル売りが先行した。ドル円は一時105.04円と2日以来の安値を更新する場面も見られたが、105.00円に観測されていたオプション絡みの買いに支えられて、105円台を割り込むことはなかった。

15日

ドル円は5・10日(ゴト一日)の仲値に向けて買いが先行。その後も対欧州通貨中心にドル高が進んだ流れを引き継いで105.49円まで上値を伸ばしたが、米経済対策を巡る米政権と民主党の交渉が行き詰まる中でリスク回避目的の円買いも入ったため、上昇のスピードは緩やかだった。

16日

ドル円はクロス円の下落につれて売りが先行し、一時105.19円まで下押しした。もっとも、海外勢の参入後は下値を切り上げる動きに。9月米小売売上高などが良好な結果となったこともあり、米長期金利の上昇とともに105.40円台まで切り戻した。

総括

先週のドル円は方向感の乏しい動きとなった。週明け12日の早朝には対人民元でドル高が進んだ影響から105.85円まで上昇する場面があったものの、その後はドル売りの流れに沿って弱含む展開に。14日には一時105.04円と2日以来の安値を更新する場面も見られた。もっとも、105.00円に観測されていたオプション絡みの買いが下値を支える格好となり、105.00円割れは回避。翌15日には105.49円まで買い戻された。週末16日も105円台前半で下げ渋る動きに。結局は週を通じて105円台の狭いレンジ内にとどまるなど、相場は方向感を見いだせなかった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
12日	20:00	月	EUR	ラガルドECB総裁発言	*	*	*	*	*
12日	25:00	月	GBP	ベイリーBOE総裁発言	*	*	*	*	*
13日	21:30	火	USD	CPI	前月比	9月	0.4%	0.2%	0.2%
14日	21:30	水	USD	PPI	前月比	9月	0.3%	0.2%	0.4%
15日	09:30	木	AUD	新規雇用者数	*	9月	11.10万人	-3.50万人	-2.95万人
15日	21:30	木	USD	フリー指数	*	10月	15.0	14.0	32.3
16日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	9月	0.6%	0.7%	1.9%

一言コメント・・・10月ユーロ圏ZEW景況感指数が52.3と前月の73.9から大幅に悪化したことを受けてユーロ売り・ドル買いが強まる場面がありました。米経済対策法案の不透明感やブレグジット交渉の先行き懸念などリスク要因が目立つ中、株価指数が下落するとリスク・オフのドル買いが入る場面もありました。

先週の注目された要人発言

13日01:30 ベイリーBOE総裁「リスクはすべてダウンサイドだと思っている」「(マイナス金利について)現時点では考えていない」
 13日19:56 バルニエEU離脱首席交渉官「今後数日と数週間の間には公正な取引を行うよう努力を続ける」「いまだ十分な進展がない」
 13日22:28 スラック英首相報道官「英国は合意なき離脱の準備と意志がある」
 14日02:46 ドリアン仏外務相「現時点では合意なき離脱の可能性が高い」
 14日16:18 EU首脳会議草稿「木曜から金曜の首脳会談における貿易協定合意のための英国との話し合いの進展は不十分」「EU首脳は『合意なし』の準備を用意へ」
 15日00:41 ムニューシン米財務長官「ペロシ米下院議長と包括的な議論ができた」「選挙前に何か合意ができるのは難しい」
 15日23:14 トランプ米大統領「喜んで1.8兆ドルを超える刺激策を受け入れる」「ペロシ米下院議長と何かを行うことは非常に難しい」「選挙前に合意する可能性もある」
 16日01:38 米共和党のマコネル上院院内総務「より大規模な追加景気対策を拒否」「追加景気対策の規模は5000億ドルが適切」
 16日19:59 ジョンソン英首相「我々はオーストラリア式のブレグジット協定で準備すべきと結論付けている」

一言コメント・・・ポンド相場はジョンソン英首相が設定していたEUとのFTA締結交渉の妥結期限である15日を迎える中、ブレグジット絡みの報道に一喜一憂する展開でした。ジョンソン氏は「EU側の交渉姿勢に変化がない限り、合意できない」と明言。交渉が決裂し経済が混乱するリスクが高まりました。一方、「交渉継続の余地は残されている」との見方もあり、今週も引き続き英・EUサイドの要人発言には注意が必要です。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
19日	21:00	月	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
20日	09:30	火	AUD	RBA議事要旨	*	*	*	*	*
20日	21:30	火	USD	住宅着工件数	年率換算	9月	141.6万件		145.7万件
21日	27:00	水	USD	ページブック	*	*	*	*	*
22日	23:00	木	USD	景気先行指標総合指数	前月比	9月	1.2%		0.7%
22日	23:00	木	USD	中古住宅販売件数	年率換算	9月	600万件		625万件
23日	08:30	金	JPY	CPI(生鮮食料品除く)	前年比	9月	-0.4%		-0.4%

今週の注目は・・・米大統領選討論会

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。